

避難訓練（浸水・土砂災害）実施計画

1 目的

本校のハザードは『浸水想定区域』『土砂災害警戒区域』『活断層』の3つある。防災教育のひとつである『避難訓練』を実施し、水害や土砂災害が起こったときにどのように避難すればよいのかを経験することにより、学校以外の場所で災害に遭遇しても自ら考え行動できるようになる。

なお、松橋西支援学校分教室と合同で実施する。

2 実施日時

令和3年（2021年）10月7日（木）中間考査最終日 11:05～11:50
 ※分教室は、11:30～11:40

3 避難計画

(1) 避難場所

洪水・土砂災害の恐れがある場合の避難場所は下表のとおりとする。

避難場所	1年1・2組→3階理科室、	1年3組→学習室C
	2年1・2組→図書室、	2年3組→3年1組教室
	3年1・2組→3年2組教室、	3年3組→3年3組教室
	分教室	→学習室D

(2) 避難経路

避難場所までの避難経路は下図のとおりとする。



☆商業（商業・家庭科棟3階）は同棟階段にて2階へ、B棟に移動し、西階段経由で3階理科実験室へ
 ☆家庭科（商業・家庭科棟2階）はB棟に移動し、西階段経由で3階理科実験室へ

☆福祉教室等（B棟1階）は西階段経由で3階理科実験室へ
 ☆1年（B棟2階）は西階段経由で3階理科実験室へ
 ☆学習室等（B棟3階）は同階理科実験室へ

(3) 前日までに

- ア 校内放送の確認 6日(水) 16:00～ 教頭・防災主任・分教室担当者
- イ 各教室に避難経路を掲示
- ウ 各学年担当者のパソコンに、説明用のパワーポイントのデータを入れる。
各学年担当者 1年:[] 2年:[] 3年:[]

(4) 当日の流れ

【状況設定】

- 11:05 大雨・洪水注意報発表
- 11:10 大雨警報発表
- 11:15 緑川の水位が氾濫注意水位を超過
- 11:25 洪水警報発表、緑川の水位が避難破断水位を超過、
甲佐町から避難指示が発令

ア 情報収集・報告・判断訓練 11:05～11:25

事務職員で情報収集訓練を実施する。

訓練①情報収集班は、気象情報、気象警報、避難指示等の情報を収集する。

訓練②情報収集班は、校長に気象情報、気象警報、避難指示等の情報を**口頭で報告**する。

訓練③校長が「心のスイッチを入れる」判断と必要な指示を行う。

訓練④情報収集班は、設定した防災情報や高齢者等避難などの避難情報を確認し、**口頭で校長に報告**する。

訓練⑤校長が避難開始を判断し、教職員に避難開始を指示する。

※甲佐町防災部局・消防・県教育委員会・保護者へ避難することを連絡(教頭) 御船消防署へは、避難訓練をすることと何時に通報するかを、当日連絡する。

11:28になったら、**事務室で**実際に119番通報する。

『訓練通報です。甲佐高校が浸水しました。土砂災害も起きそうです。』

只今より、校舎3階に避難します。』

イ 垂直避難訓練 11:30～11:50

洪水・土砂災害を想定した避難訓練を実施する目的と避難経路を生徒に周知する。

各学年担当者がパワーポイントで作成したデータを提示し、防災主任が放送を用いて説明する。

各学年担当者は、試験2限目に設営を行う。

生徒は、試験終了後、各学年に割り振られた場所に移動する。

生徒向けの説明は、11:10から開始する。

○説明場所

1学年	2学年	3学年
学習室B	視聴覚室	学習室A

	災害対策本部	職員	生徒
11:05	情報収集訓練 訓練①～⑤		
11:10～		防災主任は、避難訓練の目的と避難経路を、放送を用いて説明する。 各学年担当者は、放送に沿ってパワーポイントを提示する。	避難訓練の意義と避難経路を確認する。
11:15～		各掃除場所へ移動し、掃除を開始する。 ※大雨を想定しているため、雨天時の掃除場所	
11:28	教頭は消防署へ通報する。		
11:30	教頭は緊急避難放送を入れる。	放送を聞いた後、生徒を誘導する。	放送を聞いた後、避難を開始する。
避難完了後～	教頭は、学年主任に「緊急時人員確認シート」を配付する。	学年団の職員は学年の後方に集合する。 学年団以外の職員は各自事務長に無事を報告する。	整列して静かに待つ。
	事務長は点呼結果を教頭に報告する。	担任は、代議員に指示して速やかに点呼を実施する。 →学年主任に報告 学年主任は学年団の職員を確認する。	
		学年主任は点呼結果を教頭に報告し、「緊急時人員確認シート」を提出する。	
	教頭は点呼結果を校長に報告する。	避難誘導班は、逃げ遅れた生徒がいないのか確認をするため、未避難者の有無を確認する。	
～11:50		各教室に戻り、ワークシートを記入させる。	各教室に戻り、ワークシートを記入する。

※管理職及び学年団以外の職員は図書室へ避難する。

※1 学年主任及び分教室主幹教諭の報告方法について

ア 停電していないとき→内線にて報告

イ 停電しているとき →スマートフォンを携帯しているとき

→スマートフォンを利用して報告

スマートフォンを携帯していないとき

→窓または通路の扉を開けて報告

※ワークシート

訓練時における気付き・感想等を記入する。試験終了後にクラス担当棚に入れておきますので、担任の先生方はクラスに戻る前にお取りください。

【参考】8月31日に実施した「機能訓練」より一部抜粋

5 想定する災害と避難方法

大雨が降り続いたことで緑川が避難判断水位（4.10m）に到達したため、指定緊急避難場所である「ろくじ館」への水平避難は困難である。また、体育館の裏山が土砂崩れする可能性があることから、管理棟及び理科棟3階への垂直避難を行う。

8 役割分担

- (1) 災害対策本部【校長、教頭、事務長、防災主任】
- (2) 計時（避難時間計測）【 】※放送終了後から計測する。
- (3) 記録（写真）【 】
- (4) 避難場所解錠（避難訓練実施後は施錠する。）
3階理科室【 】
学習室C・D【 】
- (5) 御船消防署への連絡【教頭】

9 その他

- (1) 当日は、熊本河川国道事務所、熊本県土木部河川港湾局砂防課、甲佐町くらし安全推進室の方が来校される予定です。避難訓練実施後、管理職及び防災主任はそれぞれの方からアドバイスをいただきます。